

認知症の応援者になろう! ~尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会~

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らしたい。尾道市認知症キャラバン・メイトは自らが講師になり、誰もが認知症を正しく理解して認知症の人やその家族を見守り、支援できるよう、市内の学校・企業・地域に出向いて「認知症サポーター養成講座」を開催しています。

●なぜこの活動を?

認知症の中には、早く診断し治療を行うことで、治せるものもあります。でも、手遅れになると治せるものも治せなくなってしまいます。認知症を正しく知り、地域全体で認知症の人やその家族を見守り、支援できるようにしたい。そんな気持ちから、地域・企業・学校で認知症を学んでいただくためのキャラバン・メイト養成講習(認知症に関する学習の講師を養成)を受講しました。

●どんなことをしていますか?

キャラバン・メイトが講師となり、認知症サポーター(認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を見守り、支援する人)を養成する講座を開催しています。最初はテキストに沿った講義が中心でしたが、昨年からは、子どものときから高齢者・認知症への理解を深めてもらえるよう小中学校での開催をスタートし、講座内容を工夫しています。小中学校で開催する場合は、講師一人ではなくチームを編成し、寸劇をとり入れた内容にしています。小中学校に限らず、依頼先に応じた内容にするため、月2回集まって、講座案の検討や模擬講座・劇・紙芝居等の練習を繰り返し、スキルアップを図っています。



●良かったことは?

「怒ってわかった。」認知症のご家族を看取った受講生の感想です。症状を知らない恐怖心から、心ない態度をとってしまうこともあります。認知症になると、いろいろなことを忘れてしまいますが、感情はあります。笑顔が優しく、自分がされたらうれしいことをしてみてください。だれでもできる認知症サポーターの第一歩です。これまでに約7,700人が受講され、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるイメージをもっていただくとともに、地域全体で認知症の人や家族を支えていく環境が整いつつあります。

●これから...

学校・企業等での養成講座開催に加え、地区社協・町内会・区長会単位での開催を増やし、身近な地域で高齢者が安心して暮らせる環境を整えていきたいと思えます。講座を受講した人は誰もが「認知症サポーター」です!人数や団体に関わりなく、依頼があれば、キャラバン・メイトが出向いてニーズに合わせた講座を開催します。皆さんのお住まいの地域や、お勤めの企業、通っている学校でも「認知症サポーター養成講座」を開催してみませんか?



☎尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会事務局
(尾道市社会福祉協議会 ☎0848-22-8385)

地域の特色を活かした活動をしている人や団体をご存知の人は、情報をお寄せください。皆さんから寄せられた情報をもとに取材し、広報等で紹介していく予定です。☎政策企画課協働推進係(☎0848-25-7435) 📧kikaku@city.onomichi.hiroshima.jp

知っておきたい尾道の文化財 ⑤【民俗文化財シリーズ】

尾道市民俗文化財 百島お弓神事(平成23年10月25日指定)

百島お弓神事は、室町時代の嘉吉の乱に敗れた赤松満祐の一族7人が百島に逃れて住み着き、敵の追討襲撃に備えて弓の稽古に専念したのが始まりと伝えられています。水軍時代の名残という説もあります。現在は島内の三地区(福田、本村、泊)から選ばれた各5人、計15人の男子が15メートル先にある的に向かって各自30本の矢を射るとい、県内でみても大規模な神事です。

毎年、1月11日に百島八幡神社で開催されます。



☎文化振興課(☎0848-25-7312)

12月16日現在の世帯数と人口 () 内は前年同期			
	住民基本台帳	外国人登録	総数
世帯数	63,523(63,364)		
男	69,776(70,318)	1,263(1,312)	71,039(71,630)
女	76,748(77,330)	575(576)	77,323(77,906)
計	146,524(147,648)	1,838(1,888)	148,362(149,536)

代表電話番号			
市役所	0848-25-7111	因島総合支所	0845-22-1311
水道局	0848-37-8700	御調支所	0848-76-2111
市民病院	0848-47-1155	向島支所	0848-44-0110
総合福祉センター	0848-22-8343	瀬戸田支所	0845-27-2211
		百島支所	0848-73-2701
		浦崎支所	0848-73-2001
		向東支所	0848-44-0210